

2013年9月26日

TANAKA ホールディングス株式会社

田中貴金属、シンガポールに現地法人を設立、10月1日から稼働開始

主力となる銀ペーストの研究ラボも設置、車載材料やLED、半導体、家電などの市場で拡販狙う

田中貴金属グループの田中貴金属インターナショナル株式会社^(※1)（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤恒夫）と田中貴金属工業株式会社^(※2)（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岡本英彌）は、東南アジア諸国連合（ASEAN）各国での基盤強化と将来的な販路拡大を目的に、共同でシンガポールに現地法人を設立し、2013年10月1日から稼働開始することを発表します。

新会社には、銀ペーストの試作品の供給、評価、改良などを行うことができる研究ラボ「TANAKA Material Laboratory Singapore」を設置しました。銀ペーストのほか、磁気記録メディア用ターゲットや半導体用ボンディングワイヤ（配線材）、電気接点材料などの貴金属製品を主力として、当面はシンガポール及び一部のマレーシアの現地顧客に密着した研究開発支援や販売を行い、将来的にASEAN各国での販路拡大を図ります。

近年、環境負荷低減の観点から、電子部品において鉛の使用が避けられつつあることから、パワー半導体の導電用接着剤に使うことができる鉛フリー対応の銀ペーストの需要が、シンガポールで本格的に拡大しています。銀ペーストは顧客ごとに使用条件が大きく異なるため、材料の採用検討時にはサンプルの試作や評価、改良を繰り返す必要があります。従来は、こうした顧客の開発ニーズを日本国内の工場に対応しておりましたが、シンガポール国内に研究ラボを設置したことで、顧客のニーズをより早く的確に把握できるようになり、スピーディに開発ニーズに対応することができます。今後は、顧客のニーズに合わせて、研究ラボで扱うことができる製品を増やしてまいります。

シンガポールでは、車載材料やLED（発光ダイオード）、半導体、家電などの市場が拡大しており、これまでは、1978年、田中エレクトロニクス・シンガポール Pte. Ltd. (Tanaka Electronics Singapore Pte. Ltd.) にボンディングワイヤの製造・販売拠点が設置され、のちに田中貴金属インターナショナル株式会社が2004年にシンガポール支店を開設して、現地での販売活動を行ってきました。田中貴金属グループは、こうした市場で必要となる貴金属材料の研究開発支援や販売を強化するため、今まで以上に迅速かつ柔軟に組織を運営する必要があると判断し、従来の支店を現地法人化して、研究ラボを設置しました。

新会社の社名は「田中貴金属（シンガポール）株式会社」です。資本金は200万ドル（約2億円）で、両社の出資比率は、田中貴金属インターナショナル株式会社が70%、田中貴金属工業株式会社が30%です。設備投資額は、研究ラボの設置を含めて85万ドル（約8,500万円）で、当面は31名の従業員で稼働します。田中貴金属（シンガポール）株式会社では、営業および技術の両面で顧客に密着した活動を強化することで、2015年度に7億2,000万ドル（約720億円）の売り上げを目指します。



主力となる銀ペースト

■田中貴金属（シンガポール）株式会社の概要

会社名：田中貴金属（シンガポール）株式会社

Tanaka Kikinzoku (Singapore) Private Limited

代表：代表取締役社長 中山亮三

所在地：85 Science Park Drive, #04-07/08 The Cavendish, Singapore 118259

電話番号：+65-6499-9100

設立：2013年4月

資本金：200万ドル（約2億円）

従業員数：31名

事業内容：シンガポールにおける田中貴金属グループ各種製品の販売、および貴金属を活用した研究開発支援。銀ペーストの研究ラボの運営。



田中貴金属（シンガポール）が入るサイエンスパークビル

（※1）田中貴金属インターナショナル株式会社

TANAKA ホールディングス株式会社を持株会社とする田中貴金属グループにおいて、製品の輸出入販売を行うグループの中核企業

（※2）田中貴金属工業株式会社

TANAKA ホールディングス株式会社を持株会社とする田中貴金属グループにおいて、製造事業を展開するグループの中核企業

■TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885 年 設立：1918 年 資本金：5 億円

グループ連結従業員数：3,895 名（2012 年度）

グループ連結売上高：8,392 億円（2012 年度）

グループの主な事業内容：貴金属地金（白金、金、銀 ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<http://pro.tanaka.co.jp>（工業製品）

■田中貴金属インターナショナル株式会社

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 佐藤 恒夫

創業：1996 年 設立：1996 年 資本金：4.7 億円

従業員数：108 名（2012 年度） 売上高：1,951 億円（2012 年度）

事業内容：田中貴金属グループの各種工業用製品、製造プラントなどの輸出入並びに販売

HP アドレス：<http://pro.tanaka.co.jp>

■田中貴金属工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885 年 設立：1918 年 資本金：5 億円

従業員数：1,455 名（2012 年度） 売上高：8,086 億円（2012 年度）

事業内容：貴金属地金（白金、金、銀ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://www.tanaka.co.jp>

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは 1885 年（明治 18 年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010 年 4 月 1 日に TANAKA ホールディングス株式会社を持株会社（グループの親会社）とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核 8 社は以下の通りです。

- ・ TANAKA ホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・ 田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・ 日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ株式会社
- ・ 田中貴金属ビジネスサービス株式会社
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中貴金属販売株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社